

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立楠中学校

校長 中村 賢司

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

四日市版コミュニティスクールの運営要項に基づき、保護者・地域住民の方が主体的に学校運営に参画し、本校の学校づくりビジョンの目標である「あたたかさ たくましさ たしかさ」の実現を図ります。①「生徒の実態を把握し協議を重ねる」②「地域と学校教育活動の融合」③「生徒と地域との双方向性での関わりを深める」の3つの視点で推進していきます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

■吉崎海岸清掃ボランティアの講演会と清掃活動

昨年度コロナ対応及び天候不順で講演会のみとなった2年生は、今年5月に総合的な学習の時間に全員で吉崎海岸ボランティア清掃に取り組みました。

1年生は11月にウミガメネットワーク三重の米川さんから、地元の吉崎海岸をはじめ、伊勢湾の砂浜に産卵に来るアカウミガメについてのお話を聞きました。パワーポイントによる説明を聞き、また、実際にカメの甲羅に触れ、展示物の見学をしました。午後からは吉崎海岸に移動し、海岸清掃を行いました。流木を拾い集めたり、マイクロプラスチックの採集をしたりしました。このような授業を通して、四日市で唯一の海岸の美化と地域貢献への意思を育てています。



■部活動を通じた地域との交流会【9月】

今年も「1日先生」と題して、楠スポーツクラブさん主導のもと、小学生のみなさんに21講座が開設されました。中学校や小学校のグラウンドや体育館などを使い、様々なスポーツや、文化的活動が行われました。それぞれの場で中学生が小学生に教える場面があり、地域での結びつきやキャリア教育の一環としても有意義な時間となりました。



■人権標語の表彰【11月】

楠地区人権教育推進協議会の主催による、人権標語のコンテストに楠中学校の生徒が多数応募しました。優秀作品は標語としてのぼりに印刷され、



学校に寄贈されました。また、楠福祉会館で開催された人権コンサートで表彰されました。

■「夢」や「志」について考えよう（1年生キャリア学習会）【2月】

1年生は『自分の夢を見つけよう！』と題してお二人の市内在住の講師方に講演していただきました。映像も交えた様々な角度からの講演を聞いた生徒の感想に、「夢を持つことの大切さを知った」「将来について考える良い機会になった」など、前向きな姿勢がうかがえるものが多数ありました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

昨年度に比べると地域の行事や活動も少しずつではありますが、コロナ禍以前の状況に戻りつつある一年でした。そのような中で地域からのボランティアの募集があれば、積極的に参加する生徒も多々見られました。楠町の良さである、地域のつながりの強さが生徒たちの様子からも伺えます。また、コミュニティスクール運営協議会の支援・協力によって、地域が有する歴史・文化・自然・人材等のネットワークが広がり、それに伴って学校教育の内容が更に充実したものになっています。

また、運営協議会でいただく貴重なご意見は、楠中学校の教育を振り返る良い機会となっています。地域からの視点でのご意見は学校全体を俯瞰的に見る上で非常に重要であり、開かれた学校づくりを目指す上で、なくてはならないものと考えています。

3 今後に向けて

日頃の地域の方々との会話の中でも、子どもたちへの地域の担い手としての期待度の高さが伝わってきます。また、地域のボランティア活動に積極的に参加する生徒たちの姿に、地域とのつながりの強さや、「わが町・郷土」を愛する気持ちが感じられます。

地域の担い手として今後も、より一層、生徒会等を中心にボランティア活動を推進し地域の発展に貢献していきます。

将来の楠町を担っていく人材の育成に向けて地域・家庭・学校が一体となり、子どもたちの健全育成に向けて、双方向や多角的な視点を大切にしたい協議ができる学校運営協議会を目指します。

また、コミュニティスクール運営協議会での協議の内容を学校運営に活かし、地域に開かれた学校づくりを目指して、今後も教育活動を続けていきたいと考えています。